

区内保育園における細菌性赤痢の集団感染の終息について

1 細菌性赤痢の発生状況

平成 30 年 10 月 12 日（金）の 1 例目の発生届提出から、これまでの感染者数は 36 名（園児 28 名、園職員 4 名、園児保護者 4 名）であり、重症者は確認されていない。

また、平成 30 年 11 月 4 日（日）の発生届を最後に、新たな発生届の提出はなく、すべての感染者は回復した。

2 終息の判断

細菌性赤痢の集団感染の終息について、外部有識者等（感染症の専門医、目黒区医師会、東京都）の助言をいただき、目黒区保健所は細菌性赤痢の潜伏期間等を考慮して、12 月 4 日（火）中に新たな発生届の提出がなければ、次の 2 つの要件により終息と判断することとした。

- （1）新たな感染者が確認されずに 30 日間経過すること
- （2）菌の陰性確認が終了してから 2 週間経過すること

3 終息の公表等について

平成 30 年 12 月 5 日（水）に開催した危機管理会議において終息を確認し、報道発表するとともに区公式ホームページで公表した。併せて、注意喚起を行った区内各施設管理者等に情報提供することとした。

以 上